

教員採用試験の練習が佳境に

例年ですと、この時期は各自治体の教員採用試験が始まり、学生たちの教職センターへの出入りもパタッと止まるのですが、今年度は各自治体の試験日がいつもより1週間ほど遅いのと、ここへ来て受験生たちの「みんなで合格しよう」という思いが高まってきたこともあって、連日、学生たちが教職センターにきています。

たまたま来室した、昨年度合格した先輩の合格に向けた話に耳を傾けたり、演習室から移動黒板を運んできて模擬授業の練習を他の学生に見てもらったり、午後からの試験の日の午前中に来て最後の練習をしていたりと、合格に向けた思いや行動には驚くばかりでした。この意気込みと、最後まで執着心が、功を奏することを願っています。



<面接練習>



面接練習は、4月から15週に渡って行ってきました。最初は、たどたどしい回答だったのが、回数を重ねることで徐々に滑らかになっていきました。直前

には自信を持って言えるようになり、成果が見られました。

<模擬授業>

採用試験の模擬授業は導入の10分間（神奈川県や相模原市）ということで、試験用の練習が欠かせません。今年度は、採用試験直前に、子ども教育学科の宗野先生と柳先生が講座として集中的に模擬授業の指導をしてくれたおかげで、例年より内容が充実しています。



<論作文指導> 論作文指導は前年度の12月から始まり、2～3月は少人数指導のなかで数多く書くようにしています。最初は書けなかったのが、枚数を重ねることでコツをつかみ、書けるようになってきました。